2018.09.21ver

一 般 実 地 演 習 報 告 書 （みなし履修申請用） 電子提出マニュアル

作成・提出方法に関する お問合せ先

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会　実務修習担当課

eメール：kensyuka@fudousan-kanteishi.or.jp

実地演習報告書の作成・電子提出に関するお問合せは

上記メールアドレス宛にお願いいたします。

※お電話では承っておりませんのでご了承ください。

公益社団法人
日本不動産鑑定士協会連合会

注　意　事　項

1．みなしの履修申請における一般実地演習報告書の作成にあたっては「実務修習受講申請案内書」、「一般実地演習報告書（評価書本文）の作成例 」及び「物件調査報告書（土地･建物）記載例」を参照すること。

※　上記案内書等は、本会ホームページ［実務修習のご案内］→［実務修習受講申請］ページに掲載。

2．一般実地演習報告書として提出を要する書類と作成上の留意点は、下表のとおり。

必要書類 ※2	作成上の留意点
表　　紙	本会指定の「実地演習提出報告書」※1を表紙として添付すること。
評価書本文	本会指定の「記載項目一覧」※1に沿った項目立てを採用すること。
別　　表	原則として、本会指定の様式※1を使用すること。ただし、独自の様式を使用することも可能。
附属位置図	縮尺1/10000又はこれに近い縮尺を原則とし、評価不動産及び採用公示地（及び基準地）を朱書きで図示した位置図。
物件調書一式	本会指定の「物件調査実地演習報告書」※1を使用すること。

※1　本会指定の様式及び記載項目一覧は、本会ホームページ［実務修習のご案内］→［実務修習受講申請］ページより、ダウンロードのうえ、作成すること。

※2　みなし履修対象の５類型については、事例カードの添付は不要。なお、通常の実地演習の期間においては、一部類型で事例カードの添付が必要になるので、留意すること。

3．表紙以外の箇所に、氏名（指導鑑定士含む）、実地演習実施機関名などを記載しないこと（業者のロゴマークも同様）。

１．評価書本文の作成．．．．．．．．．．．．４

２．別表の作成．．．．．．．．．．．．．．．５

３．附属位置図の作成．．．．．．．．．．．．６

４．物件調書の作成．．．．．．．．．．．．．７

５．表紙（実地演習提出報告書）の作成．．．９

６．ファイルの結合．．．．．．．．．．．．10

７．一般実地演習報告書の電子提出．．．．11

※　このマニュアルでは以下のオフィスソフトを使用しています。
なお、実務修習受講に必要となる通信環境等の詳細は、「実務修習受講申請案内書」1頁目で確認してください。

<u>Microsoft　Word 2010</u>
　評価書本文、附属位置図

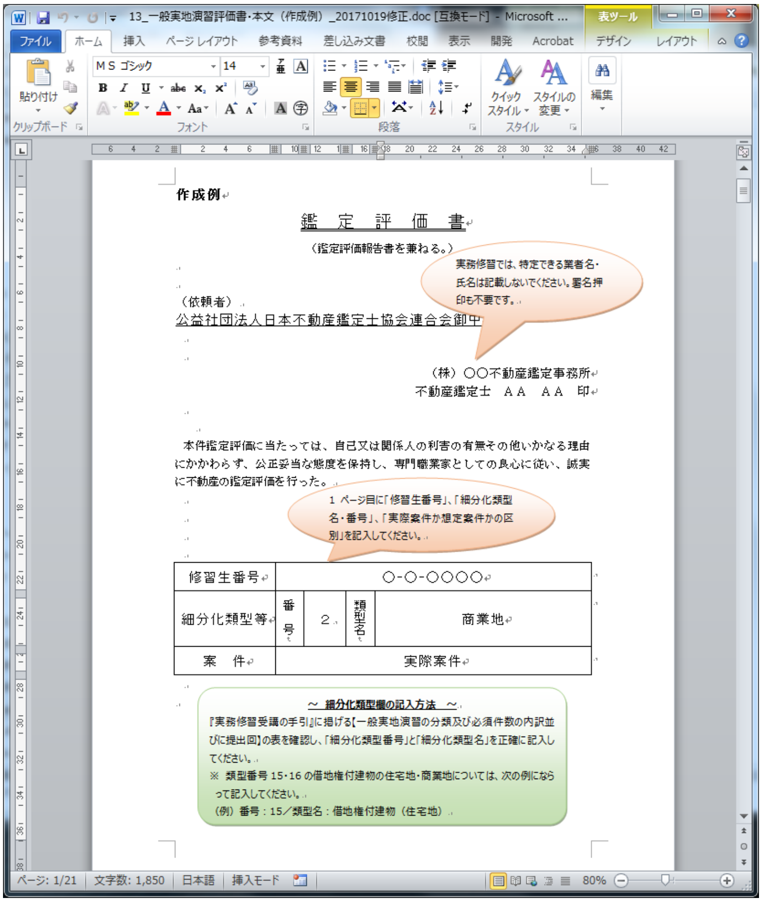
<u>Microsoft Excel 2010</u>
　別表、物件調査実地演習報告書、表紙

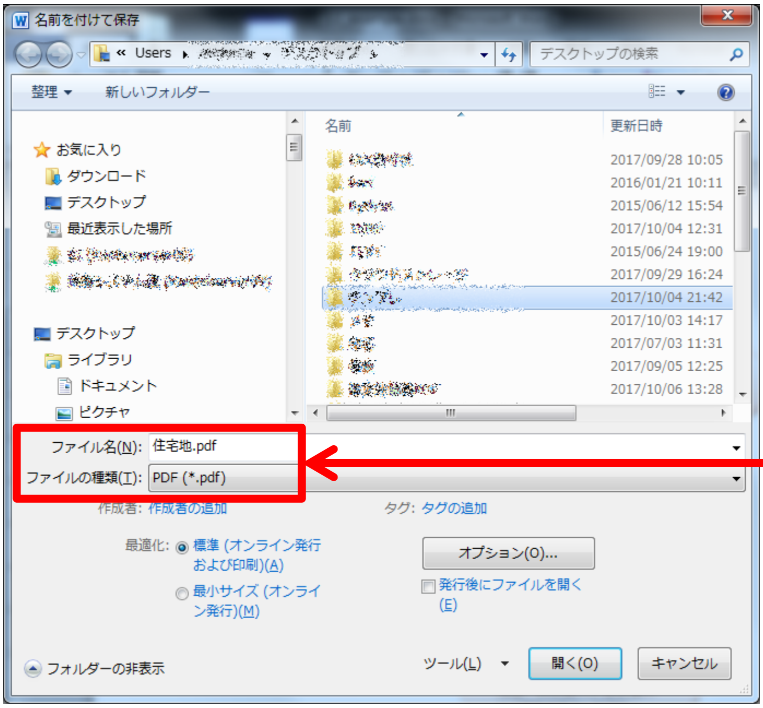
<u>Adobe Acrobat DC</u>
　各PDFファイルの結合

1 評価書本文の作成

1 本文を作成します。

必要記載項目については、「一般実地演習報告書（評価書本文）の作成例 」及び「記載項目一覧」を参照してください。





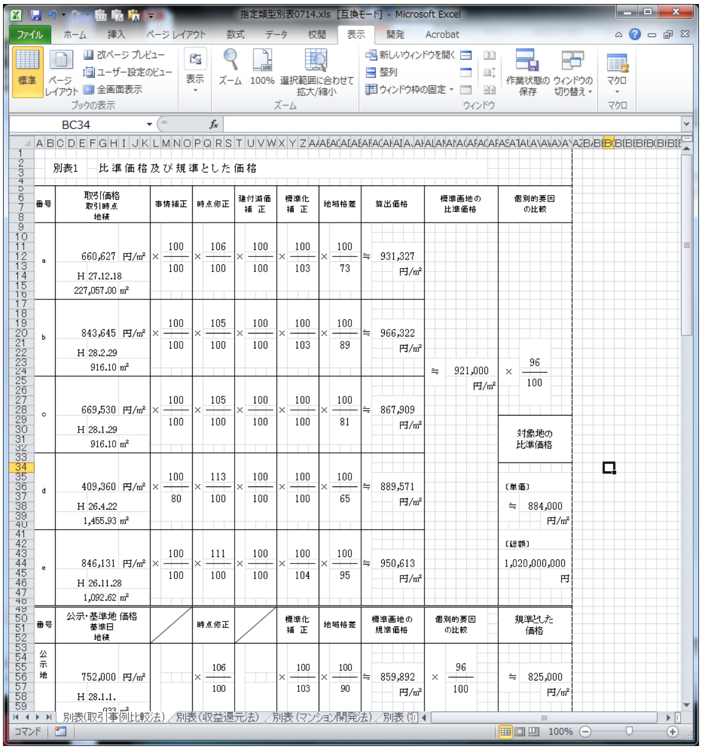
2 作成が完了したらファイルを保存します。
タブの「ファイル」をクリック→「名前を付けて保存」をクリックします。

ファイルの種類はPDFを選択し、PDF形式で保存します。

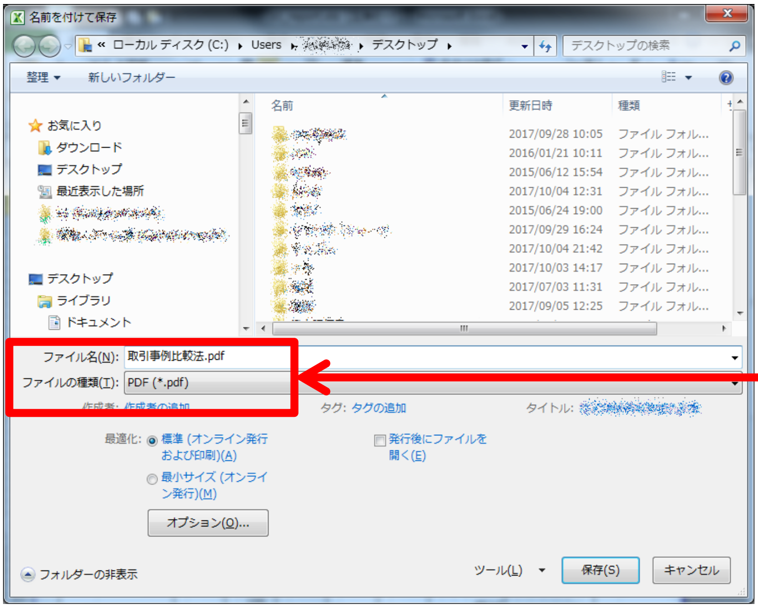
2 別表の作成

1 別表を作成します。

各類型で採用する手法等は「記載項目一覧」を参照してください。



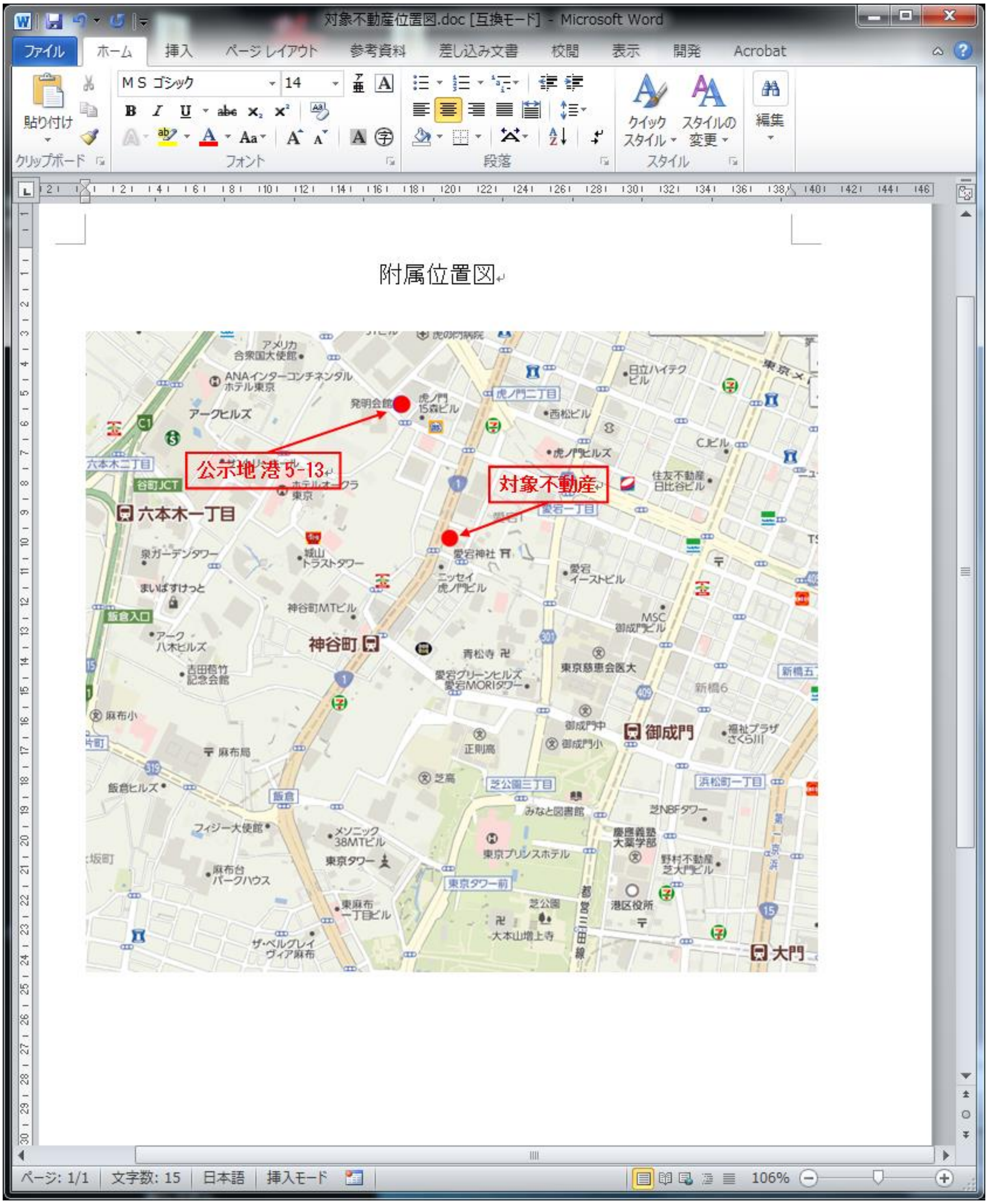
2 作成が完了したらファイルを保存します。
タブの「ファイル」をクリック→「名前を付けて保存」をクリックします。



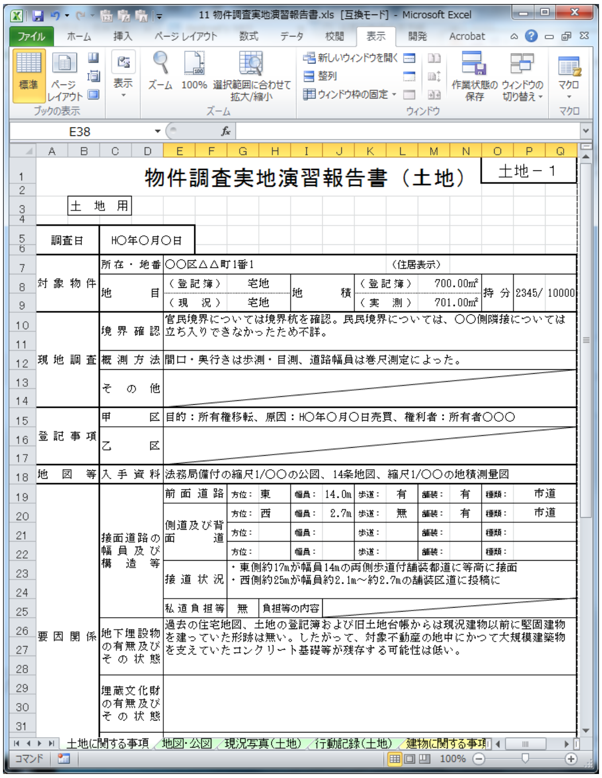
ファイルの種類はPDFを選択し、PDF形式で保存します。

3 附属位置図の作成

附属位置図を作成します。
評価書本文と同様にPDF形式で保存します。



4 物件調書（物件調査実地演習報告書）の作成

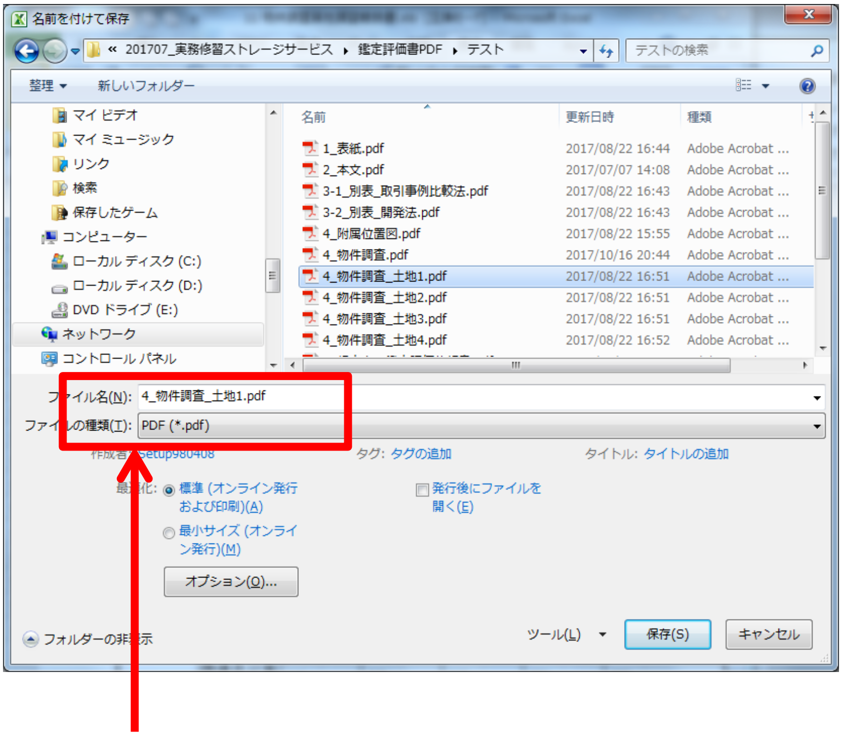


1 物件調査実地演習報告書を作成します。

記載内容に関する注意事項は記載例で確認してください。

物件調査実地演習報告書は、土地１～４、建物１～４まで8シートあります。
※　種別が宅地及び見込地等では土地１～４のみ作成してください。

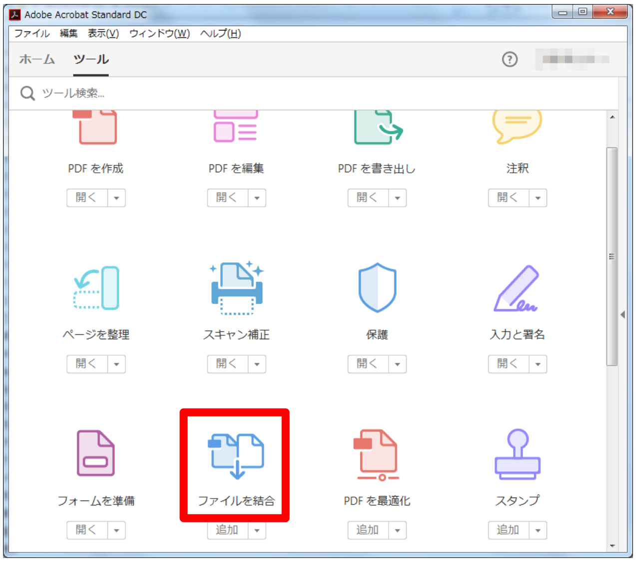
2 記載が完了したらファイルを保存します。
タブの「ファイル」をクリック→「名前を付けて保存」をクリックします。



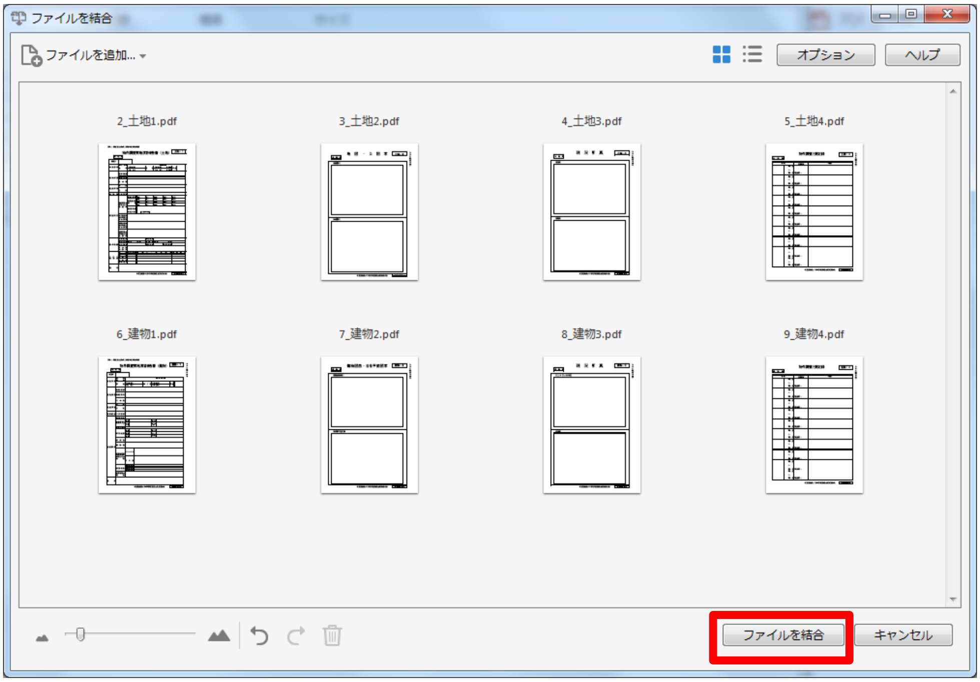
8シートをそれぞれPDFとして保存します。

※　「名前を付けて保存」を行う際、Ctrlキーを押しながら全てのシートを選択してから、「ファイル」→「名前を付けて保存」をクリックすると、一括でPDFにすることも可能です。その場合、次ページ（8頁）の手順は不要です。

3 Adobe Acrobat DCを起動して、PDFを結合します。
「ツール」をクリック→「ファイルを結合」をクリックします。

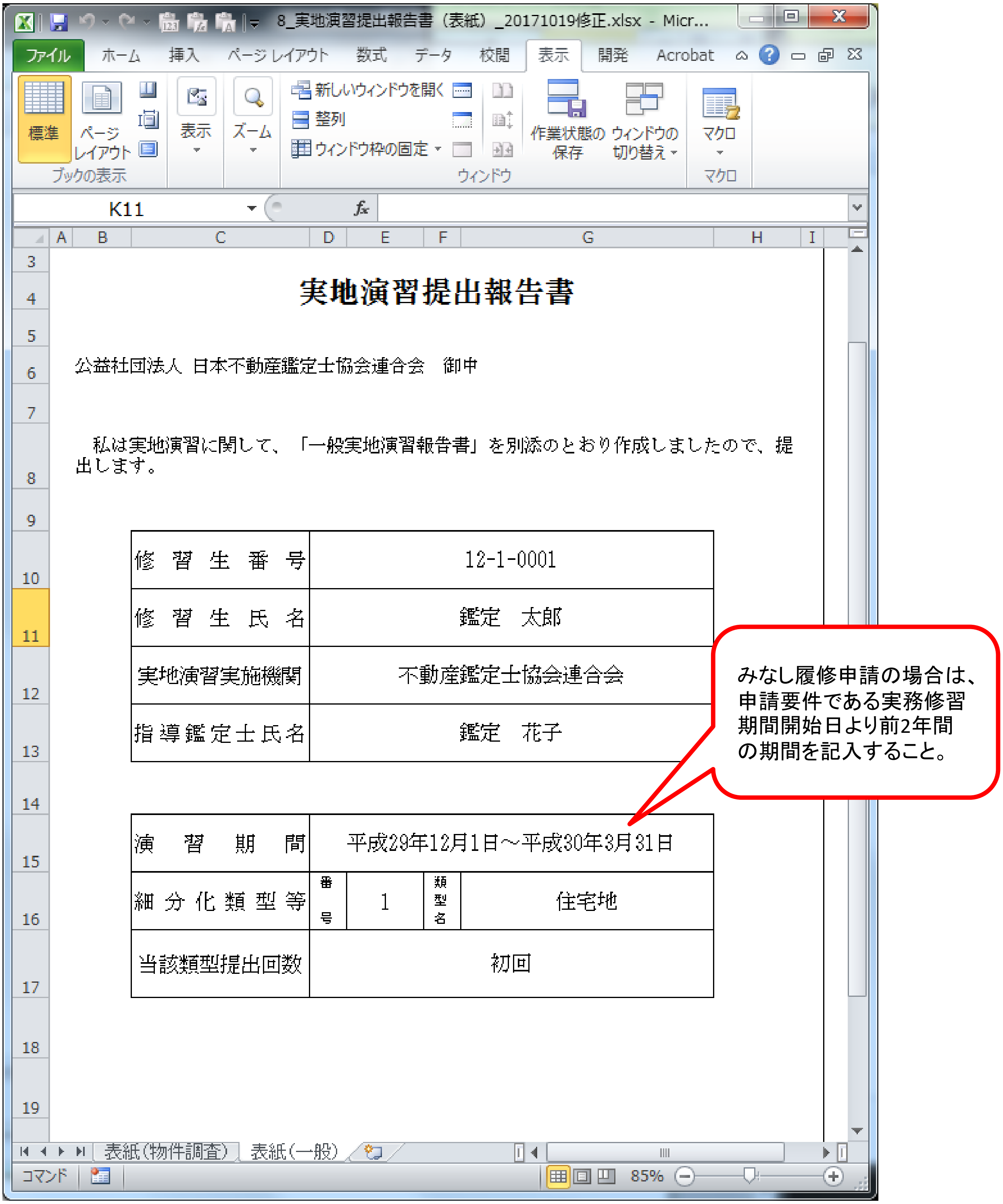


4 土地ー1、土地－２、土地－３、土地ー4、建物ー1、建物－２、建物－３、建物ー4
の順でファイルを結合します。



5 表紙（実地演習提出報告書）の作成

表紙（実地演習提出報告書）を作成します。別表と同様にPDF形式で保存します。



実地演習提出報告書

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会　御中

私は実地演習に関して、「一般実地演習報告書」を別添のとおり作成しましたので、提出します。

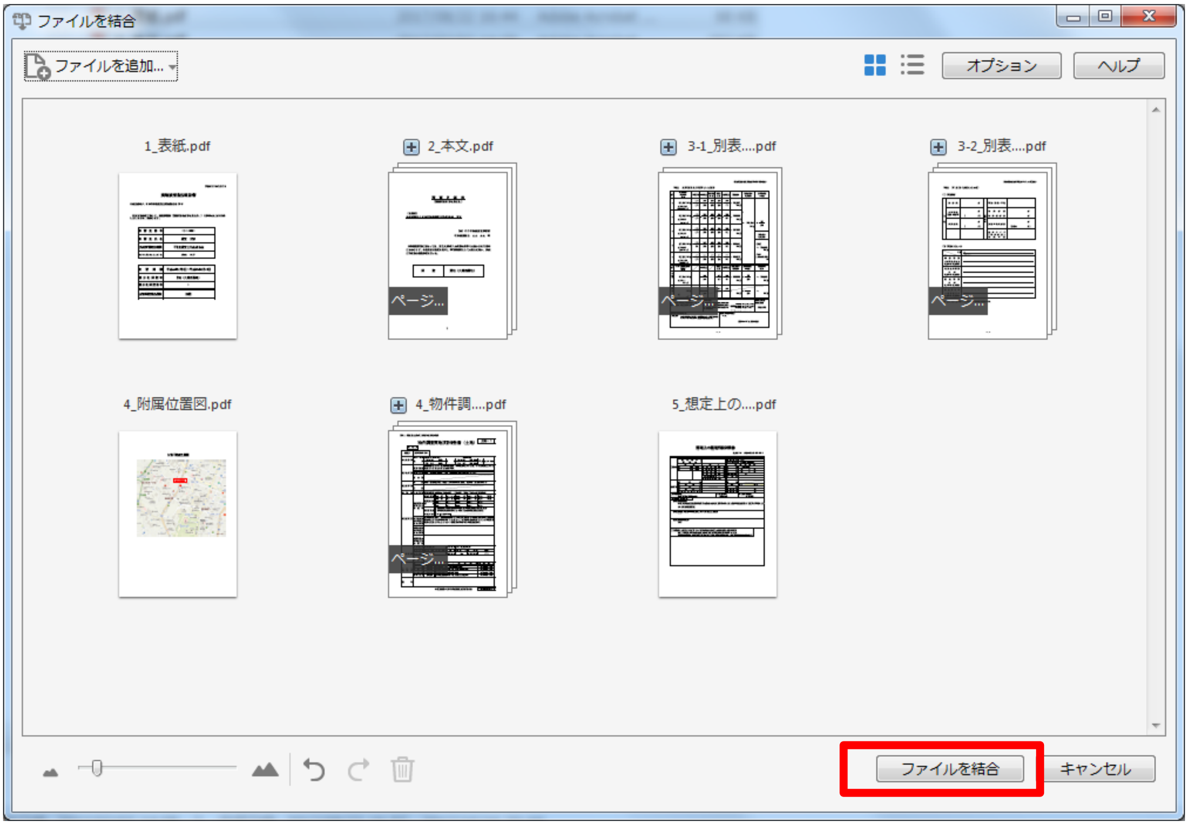
修習生番号	12-1-0001			
修習生氏名	鑑定　太郎			
実地演習実施機関	不動産鑑定士協会連合会			
指導鑑定士氏名	鑑定　花子			

演習期間	平成29年12月1日～平成30年3月31日			
細分化類型等	番号	1	類型名	住宅地
当該類型提出回数	初回			

6 ファイルの結合

1 Adobe Acrobat DCを起動して、「ツール」をクリック→「ファイルを結合」をクリックします。

2 各PDFファイルをドラッグアンドドロップし、表紙、評価書本文、別表、附属位置図、物件調書の順でPDFを結合します。

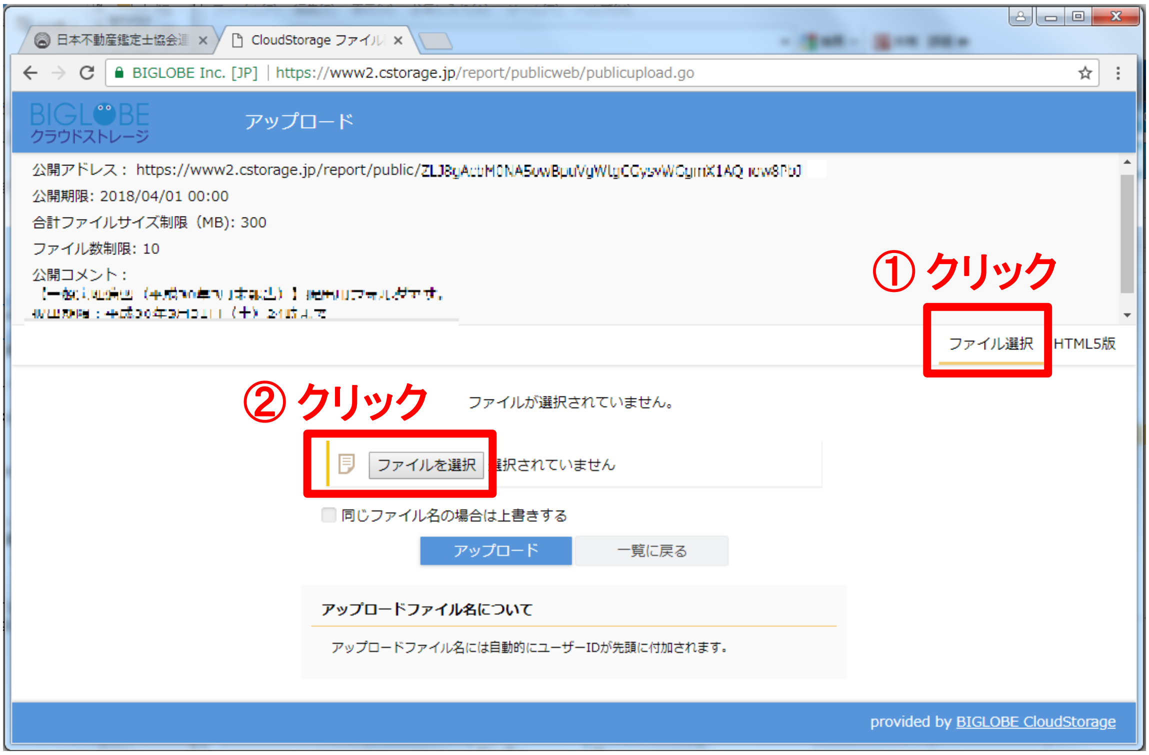


7 一般実地演習報告書の電子提出

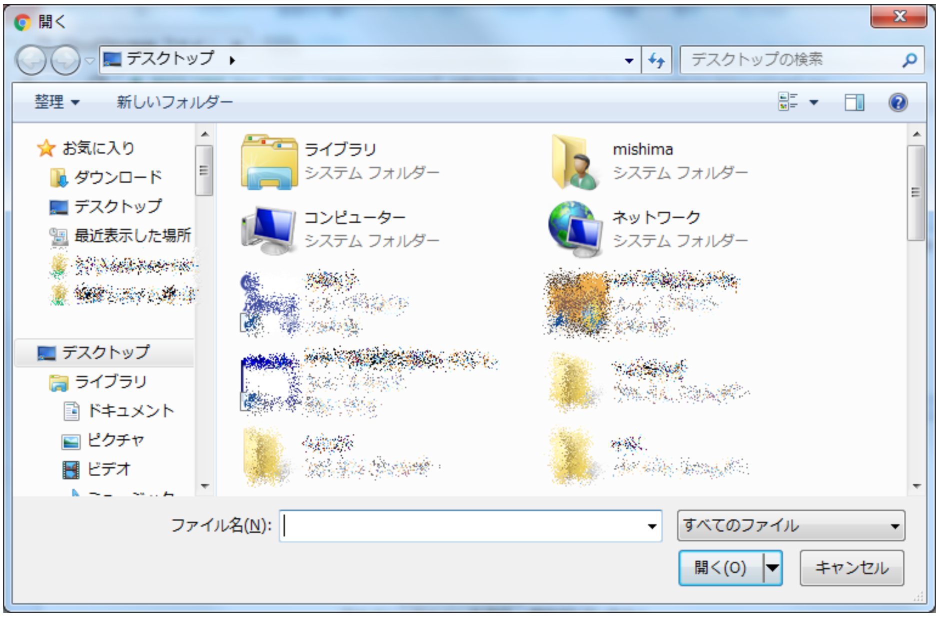
1 本会ホームページ［実務修習のご案内］→［実務修習受講申請］→［実務修習報告書提出WEBページ］に掲載されている、実務修習みなし履修申請用URLにアクセスし、郵送にて通知したユーザIDとパスワードを入力のうえログインします。

2 アップロードボタンを押下し、7 で結合した「一般実地演習報告書」をアップロードします。アップロードする際、ファイル名は「細分化類型番号.pdf」としてください。細分化類型番号は「実務修習受講申請案内書」で確認してください。
（例）住宅地は「1.pdf」、低層住宅は「9.pdf」

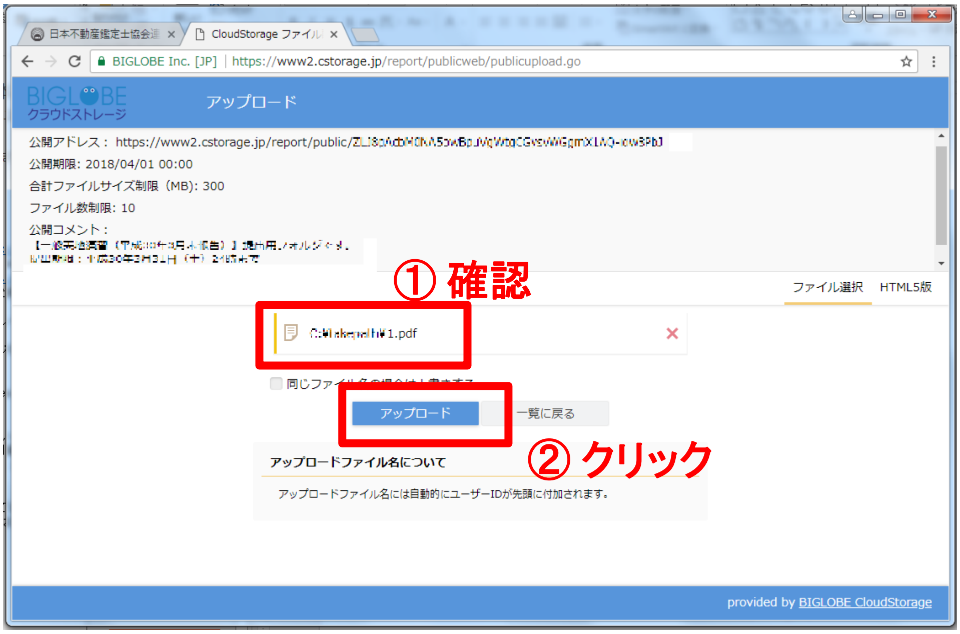
3 ①画面右側の「ファイル選択」→　②画面中央の「ファイルを選択」をクリックします。



4 提出する「細分化類型番号.pdf」を選択します。



5 ①選択したファイルが表示されているか確認し、②「アップロード」をクリックします。



6 アップロードが成功すると以下のような画面となります。

※　アップロード後のファイル名には、PDFで保存する際に付けたファイル名の前に、「修習生番号@jarea」が自動的に付与されます。

（例）PDF保存時のファイル名　　→「1.pdf」
アップロード後のファイル名→「12-1-0001@jarea_1.pdf」

以　上